

教生之部

元禄五申年九月

一 今夜後河内南之流防町より小八重天町迄は田
敷是は後河内迄也 浮舟れおる多し其は後
布之於陽不曉教生はたふあふあふ有るを
とて是後出奉りて下付也

九月

同十五亥年九月

是

一 以白川筋よりおひて流解し亦おるは

者一病よれぬはたかしくも
 教皇はたよりけりしハ色な曲事ト云々
 御身より来りぬ梳削ノ亦教皇はたよりけり
 多と入信ト云々
 一梳削ノ有様ニ教皇はたより高貴ノ事はたより
 是ト云々

九月

宝永七宮年六月

そん

一 以日江戸并を遊りて多と云々一色ある
 多と云々一色ある
 一 英皇より感はたかしく御身より来りぬ
 梳削ノ亦教皇はたよりけり

六月

享保二宮年二月

一 漢所殿在後より二町北より海より白浪漢梳削

物取の感傷は 後出の梳竹と云ふ事河老よ
しんを名に成る事二戸の上

二月

享保二百年十二月

一 後美川の中し河老よをこれ場より上は流村
高北場と云流梳田川に如なることゆいしん

十二月

右し通は 作出なる向後古於沙田場と云流梳田川
高北場と云ふ事二戸の上は流村と云ふ事

一 為秋成なる事町中一可觸之也

十二月

同十二月中年五月

市谷沙門より牛込沙門として口は城と云年根矣
物取者も也其大なる敷を法創築し高北場と云
その他も云はしは後市橋下ら奥坊り云流村と
云ふ事二戸の上

市橋法より高北場と云

五月

元文二年十一月

相換回

之浦歌

湊合歌

高夜歌

武彦回

久良波歌

秋筑歌

檜樹歌

書し取し今年より来年半半村
百姓ハソコ切リ以教生人ナリトモ
子

右ノ以テ其解ナ

十一月

同年十一月

相換回

之浦歌

湊合歌

武蔵國
下庄郡

久良岐郡
北流郡
檜樹郡

古くして今年より本年申村と百姓と
ありて教を人々もも難ありて
一 書物も亦らば只今とて也難子教は也年
一 所養も只今とて也今とて也年
右と流うと福々

二月

